

McAfee McAfee SiteAdvisor Enterprise ソリューション

ビジネスユーザー向けの安全なWebブラウジングとブロッキング

インターネットを重要なビジネスリソースとして安心して使用できるようになりました。McAfee® SiteAdvisor® EnterpriseおよびMcAfee SiteAdvisor Enterprise Plusで、スパイウェア、アドウェア、フィッシング詐欺などの脅威がブロックされるため、従業員はWebを安全に検索して閲覧できます。McAfeeソリューションに統合されたSiteAdvisor Enterpriseテクノロジーは、包括的な保護にWebセキュリティを追加し、悪意のあるWebサイトにアクセスしないようエンドユーザーをガイドしてオンラインの脅威から保護します。

主な特長

啓蒙

- ・エンドユーザーに、インターネットの検索または閲覧の危険性を通知します。

安全な検索

- ・Google、Yahoo!、MSN、AOL、Ask.comなどで検索すると、安全度が検索結果の横に表示されます。

安全なブラウジング

- ・色つきの評価システムで、ユーザーはどのWebサイトが安全でどのWebサイトが危険かを判断できます。

生産性の向上

- ・McAfee SiteAdvisor Enterprise Plusで高度なカスタマイズを行って、サイトの全体評価または脅威の要因に基づいてWebサイトアクセスを許可またはブロックできます。

リモートユーザーの保護

- ・McAfee Web Filtering for EndpointをTotal Protection for Endpointソリューションに追加して、ネットワークから望ましくないWebサイトへのアクセスを許可またはブロックして、ユーザーを保護できます。

簡単な管理

- ・McAfee ePolicy Orchestrator® (ePO™) 管理コンソールを使って、SiteAdvisor Enterpriseソリューションを組織全体に簡単に導入して管理とレポートを行うことができます。

インターネットの使用から不安を取り除く

インターネットサーフィン、地雷原をさまようようなものです。インターネットユーザーは毎日数十億ものWeb検索を実行しています。アドウェア、スパイウェア、マルウェア、キーロガー、パスワード盗難などの脅威が、無害に見えるWebサイトの影に潜んでいます。評判の悪いWebサイトは、アドウェアや無料アプリケーションに組み込まれた、データを持ち出すトロイの木馬をエンドユーザーのデスクトップにしよせることがあります。または、訪問者をだまして個人情報を開示させ、スパムキャンペーンやID盗難スキーマに利用することもあります。リスクのあるサイトを訪問する確率は非常に高く、さらに毎日高まっています。しかし、Webは従業員が日々使用する重要なビジネスリソースであるため、アクセスを制限せずに従業員をオンラインによる悪用から保護することが重要です。

2つのバージョンを利用できるMcAfee SiteAdvisor Enterpriseを使用すればWebアクセスに対する引き締め対策を行う必要はありません。Microsoft Internet ExplorerおよびMozilla Firefoxに対応したSiteAdvisor Enterpriseソリューションは、従業員が危険なWebサイトにアクセスする前に警告するため、従業員はオンラインで自由に検索して閲覧でき、同時にWebベースの脅威から保護されます。また、SiteAdvisor Enterprise Plusの高度なフィッシング対策機能とブロッキング機能で、有害な可能性のあるWebサイトへのアクセスを制限または許可するようポリシーをカスタマイズできます。

プロアクティブな安全性情報を常に通知

革新的なMcAfeeテクノロジーは、Webサイトの閲覧やファイルのダウンロード、製品登録、サービス、コミュニティへのアクセス、ニュースレターのサインアップのための電子メールアドレスの提供など、最も一般的なオンライン活動を自動的にテストします。



McAfee SiteAdvisor Enterpriseソリューションは、高度なセキュリティ警告を行う、直感的にわかりやすい色分けされた安全性評価システムを提供します。

SiteAdvisor Enterpriseソリューションは、以下のようなさまざまな情報を調査して、Webサイトの安全性を判定します。

- ・独自のデータ収集技術と分析技術を使用して、Webサイトの電子メールとダウンロードの処理を評価します。テストコンピュータにソフトウェアをインストールし、ウイルス、バンドルされたアドウェア、スパイウェア、その他の望ましくないプログラムをチェックして、ダウンロードを分析します。
- ・サイトを検査して、大量のポップアップ、不正な行為、ブラウザの悪用など、迷惑な活動に関与しているかどうかを確認します。1回限りの電子メールアドレスを使用して登録フォームに入力し、以降の電子メールについてその量とスパムコンテンツを追跡します。
- ・そのサイトがMcAfeeのテストで赤として警告される他のサイトとどの程度関連しているかを確認するために、Webサイトの連携も分析します。
- ・McAfeeでのレビューを、ユーザーやサイトのオー

対応プラットフォーム

SiteAdvisor EnterpriseおよびSiteAdvisor Enterprise Plusでは、次の環境をサポートしています。

オペレーティングシステム:

- Windows XP SP2、3
- Windows Vista (32ビット、64ビット) SP1
- Windows Server 2003 SP1、2
- Windows Server 2008 (32ビット、64ビット)
- Windows 7

Webブラウザ:

- Internet Explorer 6.0~8.0
- Firefox 1.5~3.5

最小ハードウェア:

- 400 MHzプロセッサ
- 128 MB RAM
- 10 MBの空きディスク領域
- インターネット接続
- Internet Explorer向けのSiteAdvisor Enterpriseソリューションは、わずか535 KBの小規模なプラグインで構成。Firefox向けのSiteAdvisor Enterpriseソリューションは、わずか40 KBの小規模な拡張機能で構成

サポートされている検索エンジン:

- AOL
- Ask
- Baidu
- Biglobe
- Bing
- Comcast
- Cox
- Excite Japan
- Gmx
- Goo
- Google
- MSN
- MSN Live
- Myway
- Sky
- Sonet
- Terra (br, mx, pe, cl, coを含む)
- UOL (br, arを含む)
- Web.de
- Yahoo

ナーからのフィードバックと組み合わせ、McAfeeのスタッフやレビューアが疑わしいと判断したサイトについて警告します。自動化されたテストで常にWebを見回り、結果に応じて安全性評価の色を変更します。

保護機能の強化

SiteAdvisor Enterpriseは、デスクトップでの保護層を強化します。McAfee ePolicy Orchestrator (ePO) 管理コンソールを使って組織中にすぐに展開でき、インターネット利用ポリシーを管理したり、どのデスクトップにSiteAdvisor Enterpriseがインストールされているかを把握できます。

また、SiteAdvisor Enterprise Plusを使ってePOプラットフォーム内にレポート機能とポリシー管理を設定し、Webサイトへのアクセスを許可またはブロックするようカスタマイズしたり、メッセージを制御したり、安全性評価に基づいて処理を割り当てることができ、これらすべてによってビジネスのコンプライアンスを確保します。

Web Filtering for Endpoint

SiteAdvisor Enterprise Plusにホストベースの保護を追加して、ネットワークから望ましくないWebサイトへのア



McAfee SiteAdvisor Enterprise Plusは、カスタムのブラックリストとホワイトリストに基づいて望ましくないWebサイトへのアクセスをブロックします。

アクセスを許可またはブロックして、資産を保護できます。McAfee Web Filtering for Endpointは、既にMcAfee Total Protection for Endpoint (SiteAdvisor Enterprise Plusを含む) を使用しているビジネスに理想的なアドオンで、社内ネットワークの内外を問わず仕事関連の使用でも個人的な使用でもインターネットを使用するユーザーを保護します。

McAfee SiteAdvisor Enterprise ソリューション比較チャート

機能	McAfee SiteAdvisor Enterprise Plus	McAfee SiteAdvisor Enterprise
検索結果の安全性評価	○	○
閲覧サイトの安全性評価	○	○
エクスプロイト攻撃からの保護	○	○
評価の自動更新	○	○
McAfee ePOプラットフォームを利用した展開 (ePO v4.0以上を使用)	○	○
プライベートIP範囲にホストされているサイトの除外	○	
一般的なプロキシサーバーのサポート	○	
ePOプラットフォーム上でのポリシー管理	○	
高度なフィッシングからの保護	○	
許可/禁止リストのカスタマイズ	○	
安全性評価に基づいたアクションの割り当て	○	
SiteAdvisorの無効化と有効化	○	
メッセージのカスタマイズ	○	
ePOプラットフォーム上での使用レポートの作成	○	
"監視"モードの設定	○	
サイトの脅威の要因に基づいた除外設定	○	
ePOプラットフォーム上でのイベントロギングの強化	○	
McAfee Total Protection for Endpointのユーザー向けのアドオン (SiteAdvisor Enterprise Plusを含む) : McAfee Web Filtering for EndpointはコンテンツフィルタリングおよびホストベースのWebサイトへのアクセスの施行を提供し、ユーザーとグループをブロック、警告、または許可します (ePO v4.5およびMcAfee Agent v4.5を利用することでユーザーベースポリシーが設定可能)	アドオン	

※ 2009年10月現在の情報です。最新の情報は弊社Webサイトをご覧ください。(http://www.mcafee.com/japan/products/siteadvisor.asp)

McAfee マカフィー株式会社
www.mcafee.com/jp

- 東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティウエスト20F
TEL: 03-5428-1100(代) FAX: 03-5428-1480
- 名古屋営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-17 中外東京海上ビルディング3F
TEL: 052-954-9551(代) FAX: 052-954-9552
- 西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F
TEL: 06-6344-1511(代) FAX: 06-6344-1517
- 福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8 アクア博多5F
TEL: 092-287-9674(代) FAX: 092-287-9675

● 製品、サービスに関するお問い合わせは下記へ